

ら云ひますやうに疲勞の研究を非常に盛んにやりまして、疲勞の心配のある所には鋼を使ひ、餘り心配のない所にはアルミニウム或はマグネシウムを使ふ。此の傾向は飛行機材料としては基礎的の觀念ではないかと考へます。兎も角短い間に世界各國を廻て來まして、而もドイツに2箇月か3箇月居りまして何か非常にかおれたやうなことを申し上げて恐縮でございますが、事實私共参ります時には、ドイツは大したことはないだらう。近頃ラヂオや何かで聴くと、日本は此の頃色々の方面で工業の上では世界一だと云ふことを聴かされますので、ドイツは大したことはないと思つて参りましたのですが、併し見れば見る程差が大きいと云ふことをしみじみと感じたのであります。詰り學校の生徒の例で申しますと、日本では例へば辯論は非常に出来るが數學とか文學とか外の學科は何も出来ぬ。結局は平均點が非常に悪い學生見た様なのが、今の日本の工業の状態ぢやないかと思ひます。

日本にも非常に良い發明が時にはございますが、全體のレヴェルが低い、何が世界一だ。彼にが世界一だと安心して居るとえらいことになるんぢやないか、寧ろワン・ジェネレーション位後を考へ着實に基礎的に涵養して平均點が

本當に良いやうな國にならなければいけないぢやないかと思つたのです。我々技術を擔當して居る者としては、丁度兵隊さんが戦線に行つて實際弾を前にして戦つて居るやうな氣持で將來の大陸の建設と云ふことをやらなくてはならない。小さいことは全部抜きにして、何とかして全技術者が協力して掛らないことにはどうしたつて敵はないと思ひました。今は事實上ヨーロッパの大國と國境を接して居りますが、ヨーロッパと日本の開きと云ふものは非常に大きいと云つたやうな感じで歸つて参りました。大變雜駁なことを申し上げまして恐縮でございます。(拍手)

質疑應答並挨拶

司會者 御質問がございますればどうぞ

質問 ちよつと伺ひますが、マグネシウムをさう云ふ風に使ふやうにしまして防蝕の方は……

答 防蝕はクロム酸處理でございます。クロム酸處理を致しまして其の後に塗料を塗て居ります。ドイツでは飛行機に全部塗料を塗て居るのでございまして、例へばジュラルミンのアルフラッドの板でも塗料を塗て居ります。つまりマグネシウム合金にのみ特別に塗料を塗て防蝕して居ると云ふわけでもないが、クロム酸處理を致しまして、其の上に塗料を塗て居ります。

司會者 では有難うございました。只今の非常に有益な御講演に對して拍手を以て御禮を申し上げたいと思ひます。(一同拍手)

歐 米 視 察 所 感

(昭和 14 年 11 月 30 日於鐵道協會々館日本鐵鋼協會講演會講演)

今 井 文 平*

挨拶司會者吉川理事 只今から今井さんの御講演を承りますが、今井さんは中央工業株式會社として御通知申上げて置きましたが、中央工業と云ふのは私も實は知りませぬでしたが、御存じない方もあるかも知りませぬからちよつと申上げて置きますが、大倉組の兵器製造會社ださうでございます。さうして今井さんは本溪湖製鐵所の建設者であり、又山陽製鐵所も、是は無くなりましたのでございますけれども、純銑鐵製造の製鐵所を御建てになつた方でございます。鐵鋼協會と特に御關係のある方であり、今井さんは只今同時に合名會社大倉組並に大倉商事株式會社の役員をして居られます。どうぞ御願ひ致します。

只今御紹介に與りました今井でございます。今年の3月發ちまして、ヨーロッパとアメリカを廻て7月に歸りました、もう大分日數も経て居る譯であります。今度参りましたのは只今御紹介にありましたやうな關係の仕事でござ

います。實は私はヨーロッパ、アメリカも前に行きましたけれども、20 數年來支那、滿洲は能く行つて居る者でございます。さうして一昨々年でしたかも大分北支各地から蒙古の方から山西、陝西、西安の方迄出掛けたことがあるのです。そして此の會關係で云へば山西、大同の炭田であるとか、北京、太原の製鐵所なども其の時に見たのです。どうも能く仲間の間では話が出るのですが、私が行くと後戦さになるぞと、斯う云ふ話であつた。それで、其の時も丁度北支から中支を廻て歸つてどうするんだと云ふから……どうも滿洲事變の時も、さうであつたが、倭滿洲事變が起きて斯うなつて見れば、どうせ何か其の中にあらうぢやないか、さうすると一昨年夏から今度の事變である。此の春又用事があつてヨーロッパに出掛ける時に、近い中にあると思つて行くのかと、斯う云ふ友達からの話であるからまあさ

* 中央工業株式會社取締役會長

うとも思はぬけれども、まあ見られる中に見て置きたいと思ふぢやないかと云ふやうな、まあ話をして出掛けた。今になって見るとそれが圖らずも當て居ることになりました譯でございます。

3月發ちまして、少し急ぎましたのでシンガポールから飛行機に乗りましてヨーロッパに直行しました。只今航空機のこと及其の材料に付ての學術的の有益な御話があつたのですが、私はまあ乗る方をやつて見たのです。以前も内地、滿洲、支那、殊に一昨年でございますか、是などはまだ南京落ちて僅か一月、上海から實は軍の戦闘機に乗て視察したことがある。旅客機は時々乗りましたけれども、戦闘機は其の時が初めてでございます。まだ支那の飛行機が来る時でございます、1機ぢや危いと云ふので4機か出して戴いて視察したことがある。今度あちらに行くのも少し日を急いだので、シンガポールから乗りましたのですが、御承知の通り彼處にオランダとイギリスとフランスと三つあるのですが、オランダの線に乗りました。ヨーロッパ迄6日間掛りますのです。乗た經驗として申上げれば、向ふのヨーロッパから御乗りになつた方は好い加減あるやうですけれども、こちらからは皆さんまだ出掛けの早々であつて、まあ命も惜しいし餘り御乗りにならぬ。こちらから乗りますのは向ふから乗るよりは割合に樂であつて、途中の視察が出来る。それは1日が長いことが主な原因なんです。現在の飛行機の發達で……或は近き將來に於て、まあ今度の戦争でどう云ふことになるか知れませぬが普通ならばもう大きな飛行機の計畫が進んで居りましたから、全部夜行が出来て、自由に飛ぶことに近くなる筈であつたと思ひますけれども、私の乗りましたやうな、今迄のものは、晝間飛んで夜泊て呉れるので、見物をする人には非常に便利である。謂はゞ昔東海道を下るあの空氣と思へば間違ひない。飛行機を譬へるのには甚だ當を得居らぬかも知れませぬが、朝早く出てさうして泊るのは成るべく明い中、出来れば午後の3時位に目的地に着いてさうして緩くり泊り込むと云ふやうな方針のやうです。従て餘た時間で各所の視察が能く出来る。メダン、ランゲンそれからインドの西の方のジョドパーとかバグダッドであるとか云ふやうな、普通の方法で行けない場所が見られると云ふ便益は大分ありました、其の意味の旅行としては甚だ面白いものでありました。向ふに向けて、と云ふのは長い日は26時間半あるのです、14、5時間飛んでもまだ充分に時間があると云ふやうなことで、至極さう云ふ視察と云

ふか見物に便利でございました。

向ふに行きましてからはイタリー、フランス、ドイツ、イギリスは勿論、スキツルであるとかベルジウムであるとか、スエーデンにも參りました。ポーランドも行きしました。現在のドイツになつて居りますがチョコにも入りました。もう既にあの時に云はゞ歴史に残るやうなチョコが無くなつたり、アルバニアが合併されたり、色々な事變が續々起つて居り、さうして何となしに風雲頗る急であつて各國の様子から云ふと、まあ只事ではなからうぢやないかと云ふ様子に見えました。併し戦争其のものはどの國の國民も同じく嫌である。やりたくないと思ふことは非常にありありと見えました。が併しどうしても何とかならなければ治らぬのぢやなからうか知らむと云ふやうな氣が致しましたのです。自分の關係して居る仕事の方は或る程度迄の視察が出来ましたが、それは兎に角として、何處に參りましても、先づ第一に出る質問は、一體歐洲はどうなると思ふ。何時戦はあるんだ。と云ふことで、或る人達に云はせると、戦は秋だよ、何時の秋だ、今年ぢや眞逆なからう。來年だらう。なぜ秋だと云ふと、麥を刈てからだと云ふ話もあるし、それから近い歴史で見るヨーロッパの戦争は悉く秋に起つて居る。今度も秋だと思ふと云ふやうなことで天候其の他から考へて夏の末からの方が總てのことが戦争に便利であることはあるらしいのですが、事情が許せば秋やるのが本當なのかも知れない。兎に角其の話で各所とも持切りでございました。其の話が一段落付いたと思ふと一體日支事變はどうするんだ。之を一くさりやらなければならぬ。此の話二つ片付けてしまふ迄は要件に入らないと云ふやうな實情にありましたのです。それで、今日私が専門の皆様の前で申しあげるやうな意味合の何ものも見て來た譯ではないし。短時日ではあり、まあ甚だ斯う云ふ所に立ちますことが當を得ない譯でございます。唯自分の見聞した……と云ふより感じたことを申上げて見たいと思ふに過ぎない譯でございます。

先程御話にありましたやうに、其の昔は、先刻も丁度下で服部先生、今泉先生なんかと御話が出ましたのですが、當時歐洲戦争の始まる前の時代に先年亡くなりました。大島道太郎先生、それから此處に居らっしゃる。服部先生と云ふやうな方々の御指導を受けて、本溪湖の製鐵所の建設に従事したのです。其の後スエーデンからの所謂純良なる鉄鐵が歐洲各國の戦争が始て來て得られなくなつたので本溪湖の鐵鑛を以て拵へようと云ふことで低磷鉄鐵の製造

を致しました。丁度其の當時でございましたが、矢張り此の協會でそれに付て御話を申上げたことがありますのですもう殆ど 20 何年かの昔になつて居る話でございます、私も其の儘純然たる技術者で居りますれば或は皆様の驥尾に隨いて専門家らしい真似が出来たのかも知れませぬですけども、何時の間にか外れてしまつて、到底それらしい御話を申上げることは出来ぬ譯でございます。唯さう云ふことに關聯した私として、今度でも氣の付く場合には幾らか鐵鋼に關するものも見ました、兵器とか機械工業と云ふやうなものゝの視察の外に、ドイツに於てならば、クルップとかグーテホフエングとかデマクであるとか、マンネスマンであるとか云ふやうなもの、チェッコに入りましてウイトコウヰクの製鐵所のやうなものを見たのです。併しそれも本當の製鐵或は製鋼業としての見地よりは、寧ろ彼處なんかでも……話は自然順序なしになります……國境を越えて鐵道で入ると良く見られぬと思ひましたから、特に御願ひして車で越したのです。元のドイツとチェッコの國境です。マヂノ戰線に較ぶべくもないでせうけれども、なかなか立派な防禦線が拵へられて居ります。1km に二つ位の割りでございませうか、可なり立派なトーチカが出来て、其の間を坦克の通れないやうな鐵の鹿砦の様なものがある。鐵條網がある。さう云ふのが野と云はず山と云はず續いて居りました。工場に行ても假令へば鋼鑄物品の大きなのがありまして、丁度圓くて公衆電話の箱位そして下が擴がって居りまして 4" が 5" の十何センチと云ふ位の厚さのもので、兩側と正面とに穴を三つ切であつて、云はずと知れた何か入るものらしいのです。さう云ふ様なものなんか澤山仕上げて居りました。斯んなもの今更拵へても仕様がなぢやないかと云た所が、工場長がノー、インストラクション、イェトと云ふことでやつて居るのだと云ふのでした。そんなものが澤山目に付きました。スエーデンでは鐵關係で云ふとあれを見ましたかな、レナフェルド、カーリングのロー・テンペレチュアと云ふか、さうでもないでせうか、1,000~1,100°C 位で鐵を溶かさぬ形でやつて居る脫炭法、キルンの小さなやうなものでやつて居りましたが大變便利なものゝのやうでした。豆粒から粟粒位迄の大きさの粒々にして、それをロータリーキルンの中でガスを燃やして脫炭して居るのです。餘り大きいものではないが、新しいものゝのやうでした。昔 20 年位前に行た時は、彼處の國ではずっと北のキルナバラの鐵山を見たことがあるのですが、是はなかなか立派なものでした。さうして彼處か

ら鑛石をナルビツクとルシアからドイツに積んで居る設備を見たことがあるのです。面白いものであつたと思ひますそれからイギリスでまあ面白いと云はざるを得ないのですが、古いものではスコットランドで 1802 年に建た熔鑛爐があるのです。さうしてそれは 1870 何年かに改造した 50t 爐です。彼處のスプリンド・コールを使って、未だに古い式で製鐵をやつて居る。現在殘て居るものとしては恐らく唯一のものでせう。是は或る關係で見たんですけども面白いものと思ひました。

扱先程も申上げたやうに、どの國へ行ても、まああゝ迄戰爭が嫌であるのかと思はれる程、戰爭と云ふものに對して何とかして避けたいと云ふことが、あの人達の恐らく例外的でない觀念のやうでした。

それでありながら到る所にプレパレーションと書いてある。何のプレパレーションかと云ふと、分て居るぢやないかと、斯う云ふことなんです。ドイツは先程石田博士の御話にあつたやうに非常な勢です。私もさうは考へて居りましたが、扱行て見ますると其の程度と云ふか、其の様子が大分の違ひに見えました。國を擧げての態度は實に偉いものと思ひました。イギリスの方はまあ一口に申上げればどうやら大分慌てゝ居るやうに其の時見えました。或る意味に於てフランスの方が寧ろ己を得ぬからでもありませうが、覺悟して居るかのやうに見えました。現に昨年 9 月の 28 日でございましたが、あの時の様子を聽いてもさうらうございまして。こちらに居て私共唯聽いて居る時にはあの 9 月の騒ぎの時に、一つの國が何億と云ふ金を使ったと云ふことですけども、一體何したんだらうと思つた。それが行て見ますると、本當にあの時既に立派な用意をしたのです。さうしてフランスの如きは東に向けて發つ所の人は……發つ人も送る人も全く其の覺悟で居られたものゝのやうです。それがまああゝ云ふ事情で延びた。私は此の前の歐洲戰爭の直ぐ後歐洲を廻て見たことがあるのですが、今度何となしに感じたのはどうやら戰爭が始つて 1 年か 2 年經て居るやうに、色々な工場其の他の狀況が受取れる。丁度私共同級の高等學校時代の會が東京にあるのです。私が 6 月歐羅巴を去る時に其會に繪葉書を書いたことがあるのですが、何時だつたか其の會に行たら丁度出て來ました。さう云ふやうなことが其葉書に書いてあるので話題になりました。さう云ふ感じが致しました。唯如何様にかして避けようと思ふ氣分に見える。それでまあ中間國の様子を見ると云ふと、實に氣の毒な狀況でござい

ました。スキッツルのやうに永遠に平和で中立であることを誇て居た國、それが例へばラインフォールの近所の所を車で通て見ますと、山と云ふか、丘と云ふかに澤山のトーチカが出来て居る。さうして元來纏た兵備のない國が盛んに兵備をし、兵隊を拵へて居る、お前の國は元來が永遠の中立國であるのに、何の爲に斯んな用意をするんだと云ふと、どうもマチノ戦線も非常にしつかり出来て居るらしいし、お前白耳義に行たかと云ふから、リエージへ工場を見るので行たと云ふと、あの邊も能くやって居るらしいと云ふ。それがどうした。と云ふと、今度何かあつた時に何處を通ると思ふか、と云ふ。それはお前の國だ。と云ふと、それは大變だ。と斯う云ふやうな話であつたのです。考へて見ると小國が強國の間に挟て居りながら、中立と云ふだけの理由を以て、それ等強國の國民より安閑として居られると云ふことが永續すると考へたことに間違ひがあつたのかも知れぬと思ふのです。甚だ慘めな状態になりつゝあることが能く見える。此の度圖らずも歐洲戦争が再び起て見れば、もう其の様子がありありと現はれて來たが、まあ其の當時既にさう云ふやうな感じは多くの人々が持て居たやうでした。是は何のことはない。昔ヨーロッパでバルカン半島と云ふことを一口に云ふたけれども、どうやらヨーロッパ全體が世界のバルカン半島ぢやなからうか知らむと云ふ感じがしたのであります。唯其の間にそれぢや一體あのヨーロッパと云ふ部分に 20 も 30 もの國があつて、御互が覺えられないやうな國迄澤山あることが嘘ぢやなからうか知らむと云ふことも考へられるのですけれども、一面から考へると、あの各國の間の歴史とか民族とか云ふ關係はなかなか容易ならぬ關係にあるなと思つた。

まあそれ位のことは行かなくつたつて分て居るぢやなからうかと云ひますけれども、現地にあつて殊に此の度の戦争直前でありました様子を見ますと、私はさう云ふやうな感じが致しました。ヨーロッパの過去千年の歴史があゝ云ふ形になつて居る。殊にフランスとドイツの間の關係と云ふやうなものは、今更どうもならぬやうな、非常な執拗い關係になつて居ると云ふことは申す迄もないことだと思ひますし、イギリスにしてからが我々から云へば、それ程迄には感じないのでありますが、扱實際に付て見ると、向ふの新聞に出て居る——往々にしてこちらにも現れる——ことは、アイルランド人の問題であります。是はもう 700 年間英本國と立派な敵同志の間にあつて、今度も中立を聲明して居るさうですが、出来れば宣戦布告をしたいんでせ

う。アメリカ獨立の時のアイルランド人の奮闘は申すに及ばず。イギリスの新聞にも出て居りますがよくアイルランド人の騒ぎがある。丁度アメリカに行た時が英國の皇帝陛下の御通りになつてから 2 日か經た時であつたのですが、今度一番苦勞したのはアイルランド人を擱へる爲に非常な人數と費用が掛たと云ふ話をして居りました。なかなか民族の關係と云ふものは日本の皆様と云ふか、私共の考へ及ばぬ程度にあると思ふのです。現にスコットランドに私が行た時に、或る人とまあ緩くりと話が出来た時でしたが、どうも此の頃お前の國と日本と何となしに巧く行かぬがね。と私が言出した。其の先生は、ザツツ、イングランド、と簡単に片付けちまつた。俺の方はスコットランドぢやないかと云はぬばかりで、我々としてはさう迄其の人達の感情に開きがあらうとは思はれないのが、さう云はれて見ると成程と思ひさざるを得ない譯でございました。ドイツのチェッコの合併に付ても其の當時非常に論じられて居りました。ズデーテン、ドイツの所謂ドイツ民族に關して居る部分は是は宜いでせうが、時の勢とは云ひながらあのチェッコ民族の部分迄一括して取てしまふたと云ふことは、ナチス政權年來の主張にも反して居るんぢやなからうか、ものごとが順に行けば兎に角、何ものか將來ドイツ政權に破綻を來した時に、蓋し其の源は既に其時にありと言ふんぢやないかと云ふやうな議論さへ聽えて居りました。ポーランドに參りました時も勿論既にポーランドの外務大臣がイギリスへ行て段取を付けた後でございましたからもうドイツとぼつぼつ悪くなりつゝある時でございました。さうして御承知の通りあのポーランド民族と云ふものは、あの民族だけとしてはなかなか愛國心の強い人達であり、又一面非常に自信力の強い人達である。近き將來に假にドイツとの戦端が開かれた時にどうなるだらうかと云ふことは、其の當時として考へられた問題であつた。まあ兵力其他武器の問題は兎も角として、ポーランドとして心配になるのは矢張り民族の問題であつた。三千何百萬の國民の中で二千餘萬のポーランド人は宜しいが、丁度あの歐洲戦争の後でロシアと戦てポーランドとしては初め負けて居たが幸にして終ひに勝てた。さうしてあの國境迄を取た。彼處にホワイトロシアとウクライナの人達が千萬人位居るだらう。是がなかなかの問題であると云ふことは論じて居た。歩いて見ますと今更のやうに感じますのは民族の問題である。譯つて日本のことを考へると、日本民族が或る意味に於てまあ健忘症であるからでもあるで

せうが、兎に角斯う云ふやうな關係は少しもないと云ふことを感じまして、矢張り此の點甚だ我が國に幸して居るやうな氣が致しました。三千年の歴史と云ふことは兎も角もとして、此の萬世一系の皇室の下に何等斯う云ふ問題のないことは非常に幸であると思ひます。今更のやうに歐洲の複雑な民族の關係を思出される。卑近の例で云へば、ドイツがユダヤ人を排斥した。其のことの良し悪しは別の問題として、ユダヤ人は決して此の 10 年、20 年にドイツへ入たものではないのです。それが現在でもちやんとユダヤ人排斥が出来るやうな形に分れて居ると云ふ點は、民族と云ふものの認識が、日本で我々が考へるよりは遙に深刻なものであることを熟々感じられる譯でございます。まあそんなやうなことを感じながら歩いた譯でございます。

それで、一體ヨーロッパの人と云ふものを、彼處で視察する迄もありませんけれども、人其もの、人間其もの、民族それ自體として果してどうであるかは、頗る動物的の所もあるし、嫌な所も好い加減ありますが、サイエンスの發達、是だけはどう考へても我が國の追隨を許さないものがあると思ふ。どれの是のと申上げませぬが、どう考へても此の點は立派なものである。兵器とか機械工業であるとか、航空機、又其總てのものゝ材料と云ふやうな點に付てそれ等是等、どうもサイエンスの發達、其の應用と云ふやうなものに付ては、我が國が進歩して居ることは事實でせうけれども、扱向ふはそれよりも何時も先に行て居るんぢやなからうかと思ふ。此の點だけは何處迄も我が國として考へなければならぬ問題だと熟々思ひました。アメリカでフォードが、昔の友達のエチソンの發明をされたあの研究所をデトロイドに移して、先年其處で老エチソンが電燈發明の 50 年祭の實驗を 50 年前の通りにやられたそうですが、大變面白い企と思ひます。同じ處にライト・ブラザースの自轉車屋の店も其の儘持て來てある。最初の飛行機の出來た工場といふか店なんです、さう云ふやうなものを見るに付けても、ブレリオでございましたか、英蘭海峽を横斷した時に、國を擧げて迎へたイギリスが、今日英蘭海峽が飛行機の爲にどう云ふことになって居るかと思ふやうなことを考へると、どうも科學の發達と云ふものが、

扱ヨーロッパの人達に取て本當に幸して居るかどうかと云ふやうなこと迄考へられる。昔の儘で居たならば、あのヨーロッパは 20 にも 30 にも分けて居て宜かつたでせうが、それが成立たなくなつて、もつと國の數をうんと減らさなければならぬ様になつて來たと云ふのが何處に原因

して居るかと思ふ。どうもサイエンスの發達に原因して居るんぢやなからうか知らむ、色々な發明がなければ、まあ前の形で居られたんぢやなからうか知らむ、扱日本で考へて見ると此の點甚だ有難いことのやうに私は考へて居りました。早い話が何處か箱根山でも越せば隣りの國であると假りにしたならば、日本の御互が是だけ暢氣になつて居られないんぢやなからうか、尤も斯う云ふ状態にあるから、一方から云へば本當の眞劍の研究が出来ないのかも知れぬ。防空演習なんか見て居ると、向ふで見て來たのこちらの様子で見るのとは、甚だ失禮だがこちらのやり方が可笑しく感ずる。どうもそこにそれだけの眞劍さがない。非常に此の國に幸して居るけれども、同時に其の發達に對して眞劍さを持得ない一つの理由になつて居るんぢやなからうか、斯んなやうな感じがしました。

それからドイツの話でございますけれども、どうも工場なんかへ入ての様子を見ると、成程今の科學の發達、それは申す迄もないことであるけれども、扱働いて居る人の様子なんか見ると云ふと、さう迄熱心と云ふやうにも思へない。時間が來れば待て居て、仕度して飛出して行てしまふのが好い加減ある。今のサイエンスの發達とか研究の徹底して居るとか云ふことは固より別として、唯現れた形から見ると、それ程にも感じられないやうな氣がしたのです。唯一般の國家と云ふか、社會と云ふか、其の組織の形から見ると云ふと、或は考へて見ると、各個人が非常な働をすると思ふことだけが要かどうかは問題のやうな氣がする。全體の力が一つの方向に國として有効に働かせるやうに組織してあるんぢやなからうか知らむと思ふ。時偶々春でございましたから、ベルリンの郊外邊りに花が随分ありますのですが、花見に行て居る様子を見て、又地方を廻て見ても、好い加減遊ぶ時には愉快に遊んで居る物資の關係と云ふやうなものも、外で聽くと非常に不足して居るやうに聽いて來ましたけれども、扱行て見るとそれ程でもない。其の話をすると、それは外國人向のホテルに泊たんだらうと一概に云はれますが、さうでもない不十分な資料の中でも極めて愉快にエンジョイして居る。簡単に云ふと、働くべき時に働いて遊ぶのはうんと遊ぶ、さうしてさつさと寝てしまへと、斯う云ふ形に受取れる、斯様にして國を擧げて一つ方向に向はせて居る。ナチス政權の綱領にもあるやうですけれども、遊ぶことに付ては、愉快に過させることに付ては大いに心掛けて居るやうに見える。それで歸りにアメリカを廻た時に氣が付きまして

のは、どうも今度の歐洲戦争が始てからは餘程變て居るでせうけれども、私が通過致しましたのは6月でございましたが、丁度あの問題の、行方不明と云ふか、略々見當は付いて居るのですが、プレーメンと云ふ船に乗って着いた。さうして=ニューヨークに着いて直ぐ感じたことは、どうも立派に外觀は出來て居るけれども頗るアメリカ人の元氣がない。何となしにだれて見える。現に=ニューヨークの町で好い加減乞食に會ふのです。是は一體どう云ふ譯か知らむ、世界の金の3分の2位を持って居るんだし、どの意味から云ふても困てないことは確かなのである。併し好い加減國民としては元氣がなくなつて居る。話を聽いても以前の様子とは違て聽える。さうして甚だ泣事が聽える考へて見ると、アメリカが、まああの金のある國で始めて出來るんでせうけれども、失業者の保護手當と云ふものを可なり政府がやる。さうして又事業の方から云ふても、今日は兎に角、其の時は先行きがどうなるかの不安も好い加減ありましたでせうし、殊にあの國としては來年に迫て居る總選挙の問題がなかなか重大の問題であつたやうでした。それや是やもありませうけれども、どうもあの失業者を保護して居ると、何とかを3日やれば忘れられぬと云ふ形があるんぢやなからうか知らむと思ふ。ムツソリニと云ふ人が非常に偉い人でもあるでせうが、イタリーで見ると云ふと、あれだけ澤山昔居た乞食がもう目に留らない。さうしてアメリカに來てさう云ふ者に打突る。矢張り是はどうも金のあるなしは兎も角として、働くだけは働かなければならぬのぢやなからうか知らむと云ふ感じがして見ましたのです。

まあ感じたことを申上げるのだから、どう云ふことを申上げてもそれ迄ですが、そんなやうな工合であつた。それで、話は戻りますが、どうも其の時に既に戦争の氣分と云ふかまあ現に今度始てからも現れて居りますけれども、何處迄もやるのは嫌だけれどもやらなければならぬ。要す

るに科學の發達が或る意味に於てあの人達に禍してさうして嫌でも應でもどうかしなければならぬ譯合になつて居るんぢやなからうか知らむ。飛行機の進歩が進みつゝある。今に昔よりも早くなるんぢやなからうか知らと云ふ話も聽きますが、併しそれは自らリミットのあるものだらうと思ふ。さうすると甚だ一時の曇を食るやうな話になりますけれども、科學の發達が非常な大きな變化がないならば、恐らく日本程宜い立場に居る國はないんぢやなからうか知らむ。色々な點もさることながら、今更に此の國の在り場所の宜いのに感心致した譯でございました。ヨーロッパで地圖を買ふといふたら、御爺さんが止めた。今買ちやいかぬよといふたと云ふ話は好い加減方々で聽いたから餘程擴て居るジョークの一つのやうに感じられる。さうして今日になつて見れば間違ひになつて居ない。それから一方に於てはイギリスの意氣地のなくなつて居る様子をそれとなしに云はれる言葉が多かつた。=ニューヨークで或る人と話をして居たらば、イツト・ウイル・ビー・チエムバレンドと云ふ言葉が出た。何云ふんだと思つて聽いた。もう一度云ふて見給へと云たら、チエムバレン其の人を動詞に使用して、イツト・ウイル・ビー・チエムバレンド、何のことはない。色々なことは云ふけれども其の中に愚圖々々になるよと云ふことらしい。さう云ふやうなことが實際昨年9月の時などは、チエムバレン其の人から云へば頗る残念であつたでせうが、國の状況を考へ、軍備並に兵器の状況を考へて、已を得ずあの態度に出たものゝやうに思はれる、それをまあそんなやうな意味に云はれて居た。それ位に云はれて居たイギリスが愈々兎に角決心して立た。恐らくなかなか簡単なことでは濟まないんぢやなからうか知らむと思はれる譯であります。

斯ういふ雜駁の御話を申上げて恐縮に存じます。御許しを御願致します。(拍手)